



プレスリリース
報道各位

2020年10月15日

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野
京都大学産官学連携本部パナソニック先進共同研究部門

世界初！Quality of Life を手元で見える化、向上させるアプリ

「QOLノート」実証研究始動

Fujisawa サステイナブル・スマートタウンで実証研究を開始

京都大学大学院医学研究科医療経済学分野（代表者：今中雄一教授）と京都大学産官学連携本部パナソニック先進共同研究部門（代表者：中俊弥准教授）はQuality of Life（以下、QOL）を手元で見える化、向上させるiPhoneアプリ「QOLノート」を開発し、2020年7月からFujisawa サステイナブル・スマートタウン（以下、Fujisawa SST）での実証をスタートさせました。



QOLノート

新型コロナウイルスが蔓延し、社会全体で、健康への関心がより高まりを見せています。健康管理において、運動データはスマートデバイスによって簡単に取得、管理できるようになりました。しかしながら、QOLはその重要性が認識されているものの、これまでは個人で把握することができず、健康管理には使用されないままとなっています。今後、with コロナ、あるいはAfter コロナの社会の中で、QOLはさらに重要な指標となっていくことが予想されます。こうした背景のもとに、「QOLノート」の実証研究を開始することとなりました。「QOLノート」は、QOLの見える化と向上を目指し、QOL研究のデータ収集と同時に、アプリ利用者のQOLの管理・向上に役立てることのできるiPhoneアプリとして開発してきたものです。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を受け実施いたします。

「QOLノート」は、Appleの医学研究用に提供されているフレームワークResearchKitを活用したiPhone用のアプリケーションです。「QOLノート」では、iPhoneおよびApple Watchからデータを取得します（図1）。アプリ利用者は、自身のQOLが見える化し、管理することができます。

（図2）。将来的に、収集したデータをもとに、QOL・健康指標の悪化予測およびQOL・健康の維持向上へのリコメンデーションの開発を行い、アプリ利用者に提供することを目指します。

この度、Fujisawa SSTのご協力を得て実証研究を開始いたしました。来年以降、iPhone, Apple Watchユーザーなら全国誰でも参加できる調査へと展開できるように準備を進めております（参加無料）。



iPhone、Apple Watchから取得されるデータ

歩数、消費カロリー、睡眠時間、QOL指標、交流状況など



QOLノート

フィードバック

記録されたデータがフィードバックされ、自身の過去と現在のQOLを可視化。生活スタイルへのリコメンデーションも提供予定。

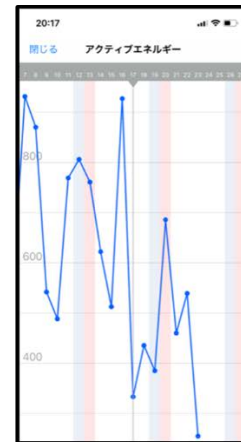
図1：QOLノートのデータ収集とフィードバック



今日の歩数やアクティブエネルギーなどを表示。



1週間の運動、睡眠などの目標値の達成状況やQOLを可視化。点数が高いほど良い状態を示す。



日々の歩数やアクティブエネルギーなどの変化を表示。

図2：QOLノートの画面



【ご参考】

Fujisawa サステイナブル・スマートタウン

神奈川県藤沢市のパナソニック株式会社工場跡地にて、パナソニックが代表幹事として、藤沢市、18 団体が参画する Fujisawa SST 協議会が進める、地域に根差したまちづくりプロジェクトです。くらし起点で実稼動するスマートタウンとして、持続可能なまちづくりに取り組むとともに、街に関わる企業・自治体・住民などが共創する仕組みを導入し、様々なイノベーションの創出を通じて、社会課題や地域課題の解決に貢献を目指しています。

Fujisawa SST 公式サイト：<https://fujisawasst.com/JP/>

【お問い合わせ先】

QOL ノートに関するお問い合わせ

京都大学 QOL ノート事務局（担当：原 広司）

E-mail：qolnote-office@umin.ac.jp